



香葉

第4号

通算35号

関東学院女子短期大学

香葉会

発行人 山口佳子

代表 横浜市金沢区

六浦東1-50-1

直通・FAX 045-787-0678

E-mail:kouyoukai@nifty.com

URL <http://homepage3.nifty.com/kouyoukai/>

- 日程 平成18年10月14日(出)
- 時間 午前10:00集合(厳守)
- 場所 JR 逗子駅(横須賀線)
- 会費 1,000円(資料、往き路線バス代、保険代含む)
- 申し込み方法
香葉会事務局までFAX・はがき・Eメールで申し込み下さい。
準備の都合上**10月4日(水)**まで
お願い致します。
FAX 045-787-0678

関東学院 旧葉山学寮、「葉山セミナーハウス」の佇む湘南葉山。賑やかな夏が去った静かな海辺、趣のある石垣、歴史深い建造物。多くの人が青春の一ページを刻んだ、想い出の葉山の小道を一緒に散策してみませんか？



- 陶芸教室**
- 日程 平成18年11月3日(金)
平成18年12月2日(出)
 - 時間 午前10時30分から
午後1時
 - 場所 関東学院大学
室の木7号館
 - 会費 3,000円
 - 持ち物 エプロン・お手拭き
 - 申し込み方法 同上
締め切りは**10月25日(水)**まで。

- 日程 平成18年
12月14日(水)
- 時間 午後1時集合
- 場所 港の見える丘公園
入口
- 会費 500円(保険代)
- 申し込み方法 同上
締め切りは**12月4日(月)**まで。

第一回の散策で訪れた山手の散策を平日に行いたいと思います。ゆったりと、のんびりと、お子様連れの参加もOKです。今年のクリスマス飾りも楽しみながら冬の昼下がりに：！！(履物は脱ぎやすいものを：))



- 日程 平成19年
1月20日(出)
- 時間 午後2時開演
- 場所 関東学院中・高等学校
「テンネー礼拝堂」
- 会費 無料
- 申し込み方法 同上
締め切りは平成19年**1月10日(水)**まで。

三春台中・高等学校本館三F「テンネー礼拝堂」において、卒業生・関係者による「朗読と音楽」の会を催します。「テンネー礼拝堂」の音の響きと光の美しさを感じて下さい。



今年の十一月三日(金・祝)は、陶芸棟で土をこねながら過しませんか。金沢八景キャンパスでは大学祭(平瀧祭)が開かれています。十一月三日だけの参加もお受けできます。(色付けと仕上げをおまかせいただきます。)なにを作るか：考え来てください。
募集人数は二十名位です。家族友人等、参加は自由です。(左上参照)



会長挨拶

山口 佳子(国1)

二〇〇六年三月二十四日人間環境学部の第一回卒業式が挙行されました。六四七人の卒業生を輩出いたしました。中には短大からの転入者が若干含まれています。その折には香葉会からも電報を打ち、また学部賞にも協力させていただき、共にお祝いを致しました。

人間環境学部長でいらした吉田博先生は副学長になられ、現在の学部長は中島高史先生でいらっしゃいます。事務次長の中村先生は室の本校地から六浦校地へ移られました。新しくご就任の人間環境学部庶務課課長矢崎隆夫様には学校便りをお願いいたしました。

二〇〇九年には一二五周年を迎え、更なる発展が期待されています。関東学院全体の同窓会「関東学院同窓会」は、大学・燦葉会、三春台・中高・橄欖会、六浦・中高・六葉会、短大・香葉会が今まで活動していたわけですが、ここに六浦小学校・おん会、三春台小学校・たんぼ会が加わり、ますますオール関東としての同窓会組織は充実しつつあります。

香葉会の活動は活発で、メールの開設、ホームページの開設をし、メールでの住所変更も年間五〇件ほどになっています。この状況ならばと今回はブログの開設をいたしました。

タブロイド版「香葉」には載せ切れないお知らせや学校の最新情報、企画の詳細などを積極的に掲げて参ります。是非ホームページを開けてご覧下さい。

また短大にとっての恩人、上市先生を偲ぶ会も奥様、お嬢様にいらしていただき、室の木の校舎内で三月四日しめやかに行われました。その折にお配りしました追悼集は、おわけしておりますので香葉会事務局までお問い合わせください。

本年度は、葉山学寮のあった「葉山」おもひで散策」十月十四日(土)、平日に行う「山手散策」十二月十四日(休)などを企画しています。沢山の方、ご主人様やお子様も是非一緒にご参加いただけますことを楽しみにしております。陶芸教室、日本画教室はいつものとおりですので詳細は事務局までお問い合わせください。

また事務局の電話番号は変わりました〇四五―七八七―〇六七八ですのでご注意ください。現在編集に携わる人、役員をしている人で散策の企画を考えた「香葉」を作成したりしています。やってみたいと思う方、また燦葉会支部と一緒に活動することもありますのでお住まいの地区での活動を希望する方もお問い合わせください。また活動のための資金としての年会費(一、〇〇〇円)、賛助金も同封の振込み書(郵便局)をお使いいただければ幸いです。

今年度も活発に楽しい活動を、広範囲にしてまいりますので皆様ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。



平成十七年十一月五日(土)午後一時麗かな陽ざしの中十四人がJR大磯駅前集合し、大磯ガイドボランティア協会の松尾亜紀彦氏のご案内のもと散策を楽しみました。初めに大磯ゆかりの作家、島崎藤村の住居だった「静の草屋」と呼ばれる旧島崎邸を訪れました。幼い子供達と妻の死など様々なことがあり、普通なら「荒れた生活」と呼ばれる人生を歩みつつ藤村は名作を生んでいきました。

藤村は五十七歳の時に再婚しこの大磯に居を構え、畢生の大作である「夜明け前」を執筆し完成させました。そして「東方の門」を執筆中に「涼しい風だね」の言葉を残してこの地で世を去りました。藤村が起居し大作を完成させた地に立てたことに感激しました。そこは簡素で清潔感の漂う心休まる佇まいでした。

藤村邸を後に次に訪れたのは大磯駅前の樹々に囲まれた通称岩崎山に建つ隠れキリシタンの聖地・澤田美喜記念館です。エリザベス・サンダー・ホームの創始者である夫人の生前の遺志により建設され、ノアの方舟

舟をイメージした船型建物です。上階は聖ステパノ礼拝堂、一階はコレクション展示室で夫人が四十年にわたって収集した、江戸時代の隠れキリシタンの遺品や関連する品々八五一点が展示されています。

展示室奥の納骨室には夫人の分骨、サンダース・ホームで幼くして亡くなった孤児二十四名の遺骨が育ての母と共に眠っています。私達も祈りを捧げました。御堂守の鯛茂先生の熱心なご説明に一同敬虔な気持ちになりました。激しい迫害の中で命を賭けて生き、そして死んでいったキリシタン信仰の証しとしての遺物と対話できたことは、信仰心の強さとその時代の一端に触れたような気がしました。

庄巻は鏡に光りを反射させ壁に投影すると、キリストの像が浮かび上がるといふ伝えられている「魔鏡」といわれるものです。レントゲン撮影したところ鏡は二重構造になっており、内部に十字架を背負ったキリストの像が彫り込まれていることがわかりました。

江戸時代幕府の弾圧を免れる為に隠れキリシタン達が工夫を凝らし、こっそりキリストの像を浮かび上がらせて礼拝していたとみられます。この「魔鏡」を鯛先生にみせて頂きました。光を反射してキリストの像が浮かび上がった時は、一同言葉に言い表わせない感動で一杯でした。

夕暮れの中、最後に訪れたのは平安時代末期、鎌倉時代初期の歌僧である西行ゆかりの鴨立庵です。現在は前面に交通量の多い道路が通って

いませが、「心なき身にもあはれは知られけり 鴨立沢の秋の夕暮れ」と詠んだ西行と往時の風情が忍ばれました。

大磯の町を散策すると其所所に歴史や文化が溢れていました。そして心に沢山のおみやげを持って大磯を後にしました。

アメリカ気質に触れて

元幹事長 井上 啓子 (家26)

香葉会の皆さま、その後お元気でいらっしゃいますか。

ロサンゼルスに移り住んで一年半が経過した井上です。元役員としてロサンゼルス通信第二号を送ります。さて、一年半が経過したとはいえ、大きな変化はないのですが「アメリカらしい」と感じたいと思います。

風船大好き

私は昨年からカリフォルニア州ロサンゼルス郊外に住んでいます。こちらの方は何かお祝い事があると、風船をプレゼントにつけて贈るようで、特に誕生日のお祝いにはたくさん風船を贈ります。

職場でも学校でも、お誕生日の人は一目瞭然です。貰う方も贈る方も照れることもなく、ごくごく自然にプレゼントと風船を渡し、そして抱

き合ってお祝いします。

昨年運転免許を取りに行ったお役所の担当官も、仕事の手を休め、たくさんの風船とお花やプレゼントをもらっていました。手続きに来ていた人達も暖かい拍手を送って、和やかな雰囲気でした。

見ていた私は一瞬「仕事かなのに良いのか!」と、びっくりしてしまっただけですが、ここはアメリカ!これが一つの文化なんだ、と納得した次第です。

バレンタイン・デーの朝、娘の通う高校の玄関先で、大きなハートの風船と花束を持った少年がじっと一点を見つめて立っていました。きっと彼女を待っていたのでしょう。私は娘を車で送って家に戻るところだったので、その場をすぐに立ち去らねばならず(車が渋滞してしまつたので)少年の気持ちが彼女に届いたかどうか定かではないのですが、彼の真剣なまなざしとハートの風船が印象的でした。

こちらの方は、日本人の私には少し気恥ずかしいほどに感情表現がストリートで、周りのことは気にしない生き方は、返って気持ちの良いくらいです。

アメリカに住んで一年半、皆さんのご期待に沿えるような変化はなく(英語とか!)むしろ日本人色をよく濃く出しながら、充実した毎日をお過ごししています。

皆様のご健勝を、少し離れたところからではありますが、お祈りしています。

それでは、また。

平成十四年に関東学院女子短期大学を改組転換して設置された関東学院大学人間環境学部では、平成十八年三月二十四日、人間環境学部として初めての卒業生を社会に送り出しました。卒業生の内訳は、現代コミュニケーション学科二八三名、人間環境デザイン学科一三八名、健康栄養学科二四名、

母校ニュース

(室の木ニュース)



第1回卒業生

人間発達学科一・二名、合計六四七名です。

人間環境学部では、平成十七年度の学長賞のうち、各学部から選考される成績優秀者一名とは別に環境関係のボランティア活動に対して評価され受賞した個人一名と、タウン誌金沢八景を発行した団体としての一団体が学長賞を受賞し

ました。

学長賞の表彰とは別に、各学科から一名を学部長賞として、卒業パーティーの席上、表彰しました。関東学院大学の他の学部では、すでに卒業生がいて、同窓会の学部支部からの寄付などをもとにこの学部長賞の原資としていましたが、人間環境学部には支部がまだなく、原資をどのように捻出するかと考え、教職員からの寄付で賄うことにいたしました。

このような状況のところ、思いがけもなく香葉会様から、多額の寄付をいただき、他学部同様、懐中時計を副賞として学部長賞を各学科一名に贈ることができました。この紙面をお借りしてお礼を申し上げるとともに、今後ともよろしくお願いいたします。

卒業生の主な就職先としては、現代コミュニケーション学科では、日本航空インターナショナル、全日本空輸、三洋電機、横浜銀行、あいおい損害保険、日本生命保険など、人間環境デザイン学科では、サッポロビール、日本マクドナルド、積水ハウス、明電舎、ケイユー、ジャパンビバレッジなど、健康栄養学科では、北里大学病院、東京衛生病院、森永乳業、理研ビタミン、日清医療食品など、人間発達学科では、保育士として伊勢原市、相模原市、伊東市、幼稚園教諭として御殿場市、富士愛育園、鎌倉みどり幼稚園などです。

『室の木遺跡のロマン』

特別県談



トリオ THE BMT

監修 田中喜芳

あなたは「室ノ木遺跡」をご存じですか。太古の時代、現在の人間環境学部のキャンパスがある場所で、人々の生活が営まれていたことを示す貴重な遺跡のことです。今号では、遺跡からの出土品をご紹介するとともに、古代人の生活にも思いをはせてみましょう。

発見は高校生の機転から

話は今から五十三年前、一九五三年六月に遡ります。

当時、鎌倉や室町時代の「やぐら」(中世の横穴墳墓)の遺跡分布を調べていた横須賀市立工業高校郷土研究部の部員が、左官屋が採取した土の中から、偶然に土器の破片を見つけたのが、この発端です。

部員は左官屋がその土をどこで採っ

たかを確認すると、すぐにそのことを、三浦半島地域の考古学の権威といわれた赤星直忠博士(一九〇二〜一九一)に報告しました。これが切っ掛けで「室ノ木遺跡」が発見されることになったのです。

赤星博士らの調査により、当時、県内では出土例がほとんどなかった「十三菩提式土器」が発見されたことから、「室ノ木遺跡」が考古学者たちの注目を集めたのでした。

それというのも、十三菩提式土器というのは、縄文時代前期を示す土器として、全国的にも知られた重要な土器だったからです。

特徴としては、表面に細いそうめん状の粘土ひもが張りつけられた独特な文様で、縄文時代の中でも、もっとも繊細な文様構成だと言われています。

こうして遺跡の存在が初めて確認されたのでした。

こうして発掘が始まった

ここから先は、私たち「トリオ THE BMT」の鼎談をとおして遺跡のご紹介させていただきます。

B「それで、遺跡の発掘はすぐに行われたの」

M「いいえ、本格的な発掘は、高校生の発見から十七年経った、一九七〇年のことだったそうよ」

T「何か、発掘をすることになる切っ掛けでもあったのかしら」

M「それはね、この年に短期大学が新校舎建設のため、遺跡のある小山を削り取って、平らにする工事

をすることにしたの」

B「大学は遺跡のことを知っていたのかしら」

M「遺跡の存在は知っていたのだけれど、詳しい位置は分からなかったそうよ」

T「それでどうしたの」

M「大学は県の文化財保護課に連絡をして工事を進めていたの。けれど、横須賀考古学会の会員が工事のことを知ったときには、すでに遺跡の一部の土が削り取られてしまっていたそうよ」

B「それで、発掘が始まったのね」



M「横須賀考古学会事務局を通じて学院大学、施工業者、横浜市が協議した結果、赤星博士を中心に、横須賀考古学会会員有志と法政大の学生らによって、発掘調査が行われることになったんですって」

T「さっき、県の文化財保護課と言ったけれど、県は了解したの」

M「すべてを横浜市に委任すること

で了解したとあるわ。こんな経過があつて、本格的な発掘が行われることになったというわけね」

B「それで、何が出てきたの」

M「発掘作業は十日間にわたって、九本のトレンチ(溝)を掘って行われたと記録にあるわ。予想に反して遺跡が埋まっていた層が深かったことから、工事で土が乱されることもあまりなく、遺物がたくさん出土したそうよ」

T「それはよかったね」

発見された土器は六千五百

M「出土した土器のかけらは、約六千五百片にも達したというから驚きね。そのうち二個体が復元が可能で、九個体が復元できるくらいに接合された」と記録にあるわ」

T「一口に土器と言っても、いろいろ種類があるんじゃないの。何しろ、ぜんぶ手作りなんだから、みんな同じというわけないよね」

M「発掘の記録を見ると、土器片が発見された地層の位置、表面の文様、土質などから判断して、最上の第五層から出土したものを『第一群土器』と分類したとあるわ。これは七片のみだそうよ」

B「へえ。約六千五百のうちの七つだけというのはすごいね。それって、どんな土器なの」

M「繊維を含み、貝殻痕文様が施されたもので『鶴ヶ島台式土器』の特徴を主とするものだよ」

T「鶴ヶ島台式土器って、どんな土器なの」

M 「鶺鴒ヶ島台式土器っていうのは、縄文時代早期後半の土器を表すもので、深い鉢の形をした土器なんかがそうよ」

B 「他には、どんな土器が出たの」

M 「下の第四、第三層からは先ほどの十三菩提式土器や、同じ地層からは、撚糸文（よりいともん）や縄文といった土器が約六千四百片も発見されたらしいわ」

古代人のデザイン感覚

T 「以前に、本で読んだことがあるわ。たしか縄文っていうのは縄を上から押しつけて模様をつけていくものよね。それから、撚糸文っていうのは、竹ひごのような棒に細縄を巻き付けて、それを土器の表面でころがして複雑な模様をつけたものだって書いてあったわ」

B 「古代人のデザイン感覚って、案外、いまの私たちよりも優れていて、たんじやないかしら。だって、ほとんど何も道具のない時代に、縄とか木の棒とか、身のまわりにあるものと、自分の知恵を最大限使って、生活道具に潤いを与えるなんてすごいと思わない。パソコンに携帯電話、何でも道具が身近にあっつてつい頼ってしまう今の自分の生活、少し反省しなくちゃね」

M 「今話した土器が『第二群土器』で、第三層の地層の上部からは、隆起線と爪形文で構成された土器が約三十片出たそうよ。勝坂式土器の特徴をもつもので、『第三群土器』として分類されているわ」

縄文時代は一万年

B 「土器って、ずいぶんいろいろな種類があるのね。こんどは『勝坂式』ですって」

M 「勝坂式（かっさかしき）土器っていうのは、一九二六年、相模原市磯部において大山柏氏によって発見された土器のことなの。装飾的な文様とか顔面把手（顔を表現した把手）などから注目され、今では縄文時代中期の目安とされる土器とされているわ」

T 「さっきの十三菩提式土器が縄文前期を表す土器、そして今の勝坂



M 「式土器が縄文中期を表す土器だから、この地ではずいぶん早い時期から長い間、古代人たちの生活が営まれていたことが分かるのね。期間だどどれくらいかしらね」

M 「そうね。縄文時代というのは、

草創期（約一万三千年前〜約一万年（前））、早期（約一万年前〜約六千年前）、前期（約六千年前〜約五千年前）、中期（約五千年前〜約四千年前）、後期（約四千年前〜約三千年前）、晩期（約三千年前〜約二千三百年前）という、この六期に分けられると言われているわ。だから一口に『縄文時代』と言っても、じつは草創期と晩期では約一万年の開きがあるのね」

室ノ木人はお洒落だった

B 「室ノ木遺跡では、中期より、もっと新しい時代の土器は見つからなかったのかしら」

M 「第三層の上部では『堀之内I式土器』に似た土器が約六十片見つかったそうよ。記録では、これを『第四群土器』と呼んでいるわ」

T 「どんな特徴がある土器なの」

M 「堀之内式土器というのは、千葉県栗市川市の堀之内貝塚から発見された土器で、縄文時代後期の土器として知られているものなの」

T 「他には何が出土したのかな」

M 「石器と、それから装飾品が出てきたと記録にあるわ」

B 「えっ、装飾品って、もしかしたらダイヤのブローチとか、ルビーの指輪とか」

M 「そんなわけないでしょ。石と土器のイヤリングが一つずつ。でも室ノ木縄文人って、案外、お洒落だったのかもね」

T 「ところで石器って、あの石の斧とか矢尻のことなの」

M 「石器は全部で百三十個ほどが発見されたそうよ。礫（れき：小さい石）をそのまま使ったり、端の方を少し割って使ったあとのある石が発見されたということね。この他、矢尻が十四点見つかったのだけれど、玄武岩製の一つを除いてあとは黒曜石だったそうよ」

B 「それで動物や魚をとったのね」

M 「黒曜石の石屑が四百個も出てきたそうよ。小暮慶明さんという人が顕微鏡で調べたらほとんどが箱根や伊豆の石だったんですって」

B 「へえ。室ノ木縄文人たちの行動範囲って、私たちが考えるよりずっと広がったのかもね。どこへでも歩いて行ったんだから偉いわ」

T 「今日はさまざまな出土品を通じて、厳しい環境の中、精一杯生きたく室ノ木縄文人たちの生活を楽しむ知恵や、精神文化の高さがよくわかったような気がするわ」

B 「私たちが学んだキャンパスには室ノ木縄文人たちの時代から、ずっと伝えられてきた学びの精神の伝統があったというわけね」

M 「そうね。土器は単なるモノではなくて、それを使って生活した人たちの暮らしへの知恵や、家族への愛情までもが込められているのね。室ノ木縄文人たちには多くのことを教えていただいたわ」

*本稿の内容は塚田明治「室ノ木遺跡調査概報」（『横須賀考古学会年報』第十五号、横須賀考古学会、一九七〇）に依るところが多く、この場をお借りして塚田明治氏と横須賀考古学会にお礼を申し上げます。

上市二郎元事務長 偲ぶ会

二〇〇五年三月、突然の訃報に驚きました。いつも元気な姿を見せて下さった上市先生がアツと言う間に……

以前より『覚え書』を一つにまとめた「覚え書」と言っていた事を実現するために、一号から三十一号までの二十九回分を編集委員全員で一冊の本にまとめました。毎年原稿を頂いていたとはいえず、後年になってからは原稿の量も増え、校止は思っていた以上に時間のかかる作業とな

先日、上市先生の追悼会に出席させて頂きました。天候不順な日々の中に、かつ晴れた日になり上市先生の追悼にふさわしい一日でした。私と上市先生の出会いは四十数年前の五月の火曜日でした。

私は横浜の大学に入学が決定して入寮するべく荷物も送っていたのですが、新学期の前に寮が火災で丸焼になり、磯子区の親戚に一時避難しました。応急処置で体育館を寮代わりにすることにされたのですが寒い中で体育館暮らしは無理だと言った祖母たちの助言で、関東の短大に近いし学校に提出する書類も揃っているのだから入れてもらえませんか聞きに行ってみなさいと

りました。記念誌を作ることと平行して、偲ぶ会の準備（上市先生のご遺族へのご案内・会場での式次第・旧教職員へのご案内など）。時間ばかりがどんどん過ぎて行きました。二〇〇六年三月四日。室の木エテルニテ四階、卒業して以来始めて学校にいらっしゃる方もあり、若い役員が正門の案内に立ち、参加者も迷うことなく会場へ。

午後一時受付開始、会場には思い出の写真（卒業アルバム・個人写真）を展示し、年代のちがう卒業生・先生方との語らいの場になっていました。午後一時三〇分、偲ぶ会が始まり、賛美歌三一二番を全員で斉唱し、聖書祈禱を白土紀久子さん（英文科九回）・山口会長の挨拶・来賓挨拶

言われ、短大の事務所に伺ったのが上市先生との出会いでした。「丁度、明日が教授会なので審議して連絡してあげます」と言われ、翌日の水曜日に「明日からいらっしゃい。寮も空いて居るから入れます」と今では考えられない状態での入学でした。入学してからもクラスの仕事をすることになったので、何かと事務所に入つた機会があり上市先生とはお会いする機会が増えました。

穏やかな笑顔が印象的でした。学校を離れてから数年はお付き合いが途絶えたのですが、結婚して金沢区に住むようになってから「学校に近いのだから何かと手伝っ

（林淳三元学長・古城房子前会長・中村英夫現事務次長）と続き、和やかな歓談。最後に上市その人様（令夫人）のご挨拶を頂き、COLLEGE SONGを歌いお開きとなりました。

フロリダ半島巡り
— PCBに住むダン百代 夫妻に招かれて —
スポンサー
兒玉三重（英2）

昨年十月一日から十五日までの半月、アメリカに飛び、フロリダ半島をドライブしました。関東学院短期大学二期生で昭和二十八年に卒業し、老人と呼ばれる年令ですが、まだ若いつもりでおります。出来ることは何でも成し遂げたい！人生一度しかなく、それも終わりに近づいている身を、上手く生かしたい気持ちでおります。フロリダ巡りはパナマビーチに住む百代さんのお陰です。

同級生だった鈴木百代さんは、卒業後すぐに氷川丸に乗って渡米し、サンフランシスコに住み、グラナダで賢ちゃん倫ちゃん二人の子供達を育て、図書館司書をしてアメリカ人になりました。現在はセカンドハウスをフロリダ州パナマシティビーチに八年前に求め、ダンと二人でコンドミニアムの最上階で長閑な生活をしています。努力家で天国みたいな海辺に住めるようになるまで、人生を前向きに貫ぬいて来た人です。私は五十五年程親友となって、交友を続けて

来ました。それでパナマビーチが素晴らしいから是非訪米するよう促され、主人と二人で旅立ちました。以下日記代りに毎日詠んでいた短歌で、順番に廻ってドライブしたことをお伝えしたく存じます。

- 1 さあ出発父母の写真に挨拶し佛壇合掌無事祈るなり
- 2 成田空港フライトを待つロビーにて熱きコーヒー一服の安らぎ
- 3 アトラクタ空港にてのバッグ待ちサヴウェイ迷ひ辿りつく友の手
- 4 食べる物見る物全てビッグにてヒルトンホテルアメリカを観る
- 5 遊覧船サバナ川に浮かぶの眺めつ暖風浮かれて歩く
- 6 ハイエットゆったりくつろぐ場所広く黒人多くけなげに働く
- 7 バーバラのストーリーよく分らねどサバナの歴史建物に見へ
- 8 五百年前イギリスと戦ひし城跡残るサンマルコ城
- 9 アメリカの独立以前三百年スペインイギリス海渡り来る
- 10 フロリダの自然豊けき土地の人ゆったりとして和やかなりし
- 11 宇宙センタ買ふみやげ物ナサジるし家族友達百ドルを越す
- 12 豪勢なイタリヤ風のホテルにて一夜明けたらブレイカーズ
- 13 平屋建てスペイン風の家並びマイアミ地帯穏かなりし
- 14 島並ぶフロリダ半島南端のキーウエストは大きな街なり
- 15 ヘミングウェイ住みし家日本語の説明ありて猫二十四匹
- 16 大勢の人集りて賑はひし鉄灯籠やプールある庭



さつき会

菅原千代子 (英2)



さつき会が誕生して以来、途絶えることなく二十六回目を横浜駅西口のベイ・シエラトンホテルアンドタワーにて催す事が出来ました。昨年と同じ会場でもあり出席者十五名はすぐに短大時代へとタイム・スリッパし明るく楽しく語り合いました。一人一人の近況報告に豊かに齢を重ねて来られたことを実感し、欠席の方々にも思いを馳せ、来年のさつき会を高く視野に入れつつ、賛美歌四〇五番を後にしました。

バアバのクラス会

前納順子 (女専英2)



つゆらしい小雨の降ったり止んだり六月十八日(日)、私達女専英二回生は、新装なった『相生』で、クラス会を開きました。

クラス全員四十六名のうち、亡くなった方が十名、不明の方が二名、そして残りの外国住いの方七名と二十七名、計三十四名が連絡のつく仲間です。

卒業後半世紀、喜寿を迎える方も多く、当日急に体調をくづされて欠席の方もあったなかで、十三名が集まったことは嬉しい事でした。「二十年ぶりよ」とおっしゃって顔をみせて下さった方もありました。一言、一言、お話ししているうちに昔の顔を思い出しおしゃべりがはずみましました。相生の飯吉さんの御好意で、十一時半から四時までたっぷり昔を懐かしみました。

又、特別に葛城さんが御出席下さり、皆に上市先生の追悼記念集を頂き感謝も一しほでした。ミセス・タツピング、M・ライオン先生のお話など、学生時代を思い出す記事がありました。葛城さんの様な方が、卒業生の

事を考えて下さり、本当に有難いことだと思えます。特に忘れられがちな女専卒の私達にとっては、八十も近くなると、色々な理由で外出が不自由になりがちですが、せめて一年に一度位はお互に元気な顔を合せ、はげましあって、残りの人生を楽しく有意義に過ごしたいと思えます。神のお力によって、せっかく同じ学び舎に集い、困難な時代でしたが青春の一時を共有した私達なのですから。

現役でお仕事を頑張っている方、親御様、御主人様の介護で大変な方、悠々自適で趣味を楽しんでいらしゃる方、人夫々ですが、どうぞ皆様御自分の健康を第一に考えて、少しでも長く、私達のクラス会を続けられるように致しませう。

同期会のご報告

白井悠紀子 (英11)



真夏日になった六月の末、英文科三十七年卒(A・B合同)のクラス会を開催致しました。

二年毎に参集しておりますが、今回は卒業以来四十五年の「節目の時」として、多数の方々の参加を願って企画致しました。(この際に名簿の整備をし、七十五名にご案内)。小玉敏子先生をはじめ、海外よりニューヨークから、ピーターラビットの里、湖水地方から、又、北は北海道、南は山口、高知からと三十五名の御出席がありました。

あの頃の麗わしき乙女も、それぞれに人生を重ねて年金(老令)を受け取る年令になりましたが、こうしてお顔を合わせますと、四十五年の月日がアツという間に学生時代にタイムスリップして、昨日のつづきで和気あいあいとお話に花が咲きます。

香葉会の賛助金や、中国の奥地で学校に通えない子供達の援助(プロジェクトシックス)にと、ご寄附をいただいたりして、「関東学院の精神」は健在なりと実感!!最後はカレッジソング(音楽の時間、安藤寿々代先生の御指導を思い出しながら)の合唱でお開きに致しました。

二十才の頃「人生これから」「バラ色の人生が開ける」と思っていた。あの活力を取り戻し、人生まだまだこれからだ!!と健康に留意し、又の再会を一五年後は半世紀になる、ワァースゴイ!!と約束して「二次会」に流れていきました。

今日のつづきは又、あしたネ……。 (香葉会より、校歌、カレッジソングのCDをお送りいただき、ありがとうございます。)

関東学院女子短期大学香葉会

Table with financial data for H17年度決算 and H18年度予算. Columns include 収入の部 (Income) and 支出の部 (Expenses) with sub-items like 年会費・賛助金, 通信費, etc.

下段に、年会費・賛助金の名簿を記載しております。年間の「香葉」の送料は予算の半分をしめております。卒業時に納入頂いた会費は、その学年に...

平成十七年度決算・平成十八年度予算

- 17 湿地帯ナショナルパーク横断しハイウェイ行くトヨタアヴァラム
18 大西洋さよならをしてメキシコ湾夕陽を浴びてサラソータに着く
19 作務衣着る日本娘のウェイトレス日本語話せば懐かしさ湧く

新しい学部からも卒業生を出し、短大であった事が遠く思える時があります。編集作業を通して私達が感じた様に、寄せられたクラス会の報告や卒業生参加の企画などに触れ、多くの卒業生に感謝の気持ちを感じて貰えます様に。



上市二郎追悼記念「覚え書」
限定一〇〇冊 一、三〇〇円(送料込)
問い合わせ 事務局まで

年会費・賛助金 納入者名簿

皆様のご厚意により八〇二、六一四円の収入と成りました。香葉会の会費の一部として有効に使わせて頂きます。皆様のご協力に感謝致します。今後とも宜しくお願い致します。(順不同・敬称略)

- 恩師 坪井昇 千田節男 井上春水
加藤紀子 松本裕子 辺見裕子
丸山昭一 田辺美紗子
柳本キヨ子 牧野真澄
井上安喜子 田原千恵 桐原千恵
田中順子 中川あや 柳下節子
女専 土岐房子 宮澤常子 丸丸勝代 小棚香苗
平尾富子 佐藤久子 五木田恵子 春日宏子
石井多恵子 奥野節子 松井洋子 荒井静子
内田駒子 大高悦子 西本素子 飯吉裕子
飯吉裕子 飯吉裕子 飯吉裕子 飯吉裕子
飯吉裕子 飯吉裕子 飯吉裕子 飯吉裕子